

～今月のテーマ～

賑わう夏

National
Parks
of Japan



利尻礼文
サロベツ
国立公園
だより

—その自然には、物語がある—

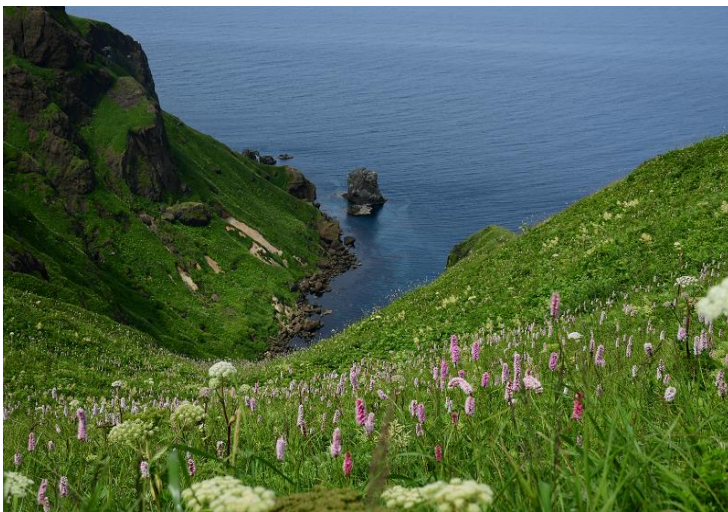
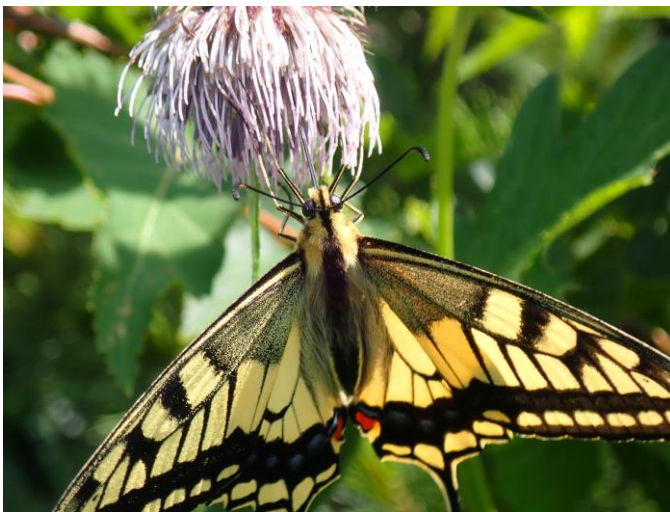
2021/7 Vol.6

サロベツ

真夏の野外活動

7月上旬は国立公園での様々な活動があり、小学生から中学生、高校生、さらにパークボランティアの方々など多くの方が参加してくれました。道北にとっては炎天下の中、どの活動でも国立公園のため、そして学ぶために元気に活動をしてきました。今回はそんな中、たくましく活動する高校生の後ろ姿の1枚です。

撮影・文：福井翔太
(サロベツアクティブレンジャー)



利尻島 東の間の休息

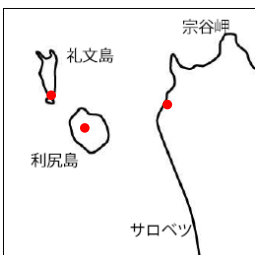
強い日差しが降り注ぐ中、利尻町の皆さんと行われた杓形登山道整備。朝6時に集合し一日かけて、繁茂する草木で覆われた登山道の刈払いなどを実施しました。作業中まるで励ましに来てくれたキアゲハに目を奪われ、後半戦の活力になりました。

撮影・文：黒田芳人 (国立公園管理官)

礼文島 広がる ピンクネコジャラシ!

桃岩展望台コースでエゾイブキトラノオが一面ピンク色に広がっています。コースの西側では猫岩を入れて、東側では利尻島を入れて撮影しながら、ゆっくり歩いてみませんか?

撮影・文：津田涼夏 (礼文島アクティブレンジャー)



—今回の撮影場所(撮影日)—

- 【利尻島】杓形登山道
鯨泊港フェリーターミナルから車で35分(2021.7.14)
※杓形登山道入口の見返台公園駐車場まで車通行が可能です
- 【礼文島】桃岩展望台コース
香深港フェリーターミナルから車で10分(2021.7.10)
- 【サロベツ】浜勇知園地
JR稚内駅から車で25分(2021.7.14)

「利尻礼文サロベツ国立公園だより」とは

日本最北の国立公園にはアクティブレンジャーと呼ばれる公園管理を行うスタッフが3名それぞれ利尻島・礼文島・サロベツで働いています。そんなスタッフが季節ごとのとおきをおき皆様にお届けします。

発行：環境省 稚内自然保護官事務所